



民謡カフェ
アイノテ

ランチやコーヒーを楽しみながら、民謡が流れるカフェでゆったり過ごせます。オーナーが民謡調査旅行で買い集めたお茶やお菓子が登場することもあり、ときには津軽三味線の生演奏に出会えることも。民謡を身近に体験できる場所です。

営業日時：土曜日限定 10:00～16:00

所在地：〒131-0032 東京都墨田区東向島 2 丁目 29-13
ノウドひきふね内

Email：minyo.yutachita@gmail.com

電話：電話：090-4411-9524

アクセス：アクセス：東武スカイツリーライン、
亀戸線「曳舟駅」から徒歩約 1 分

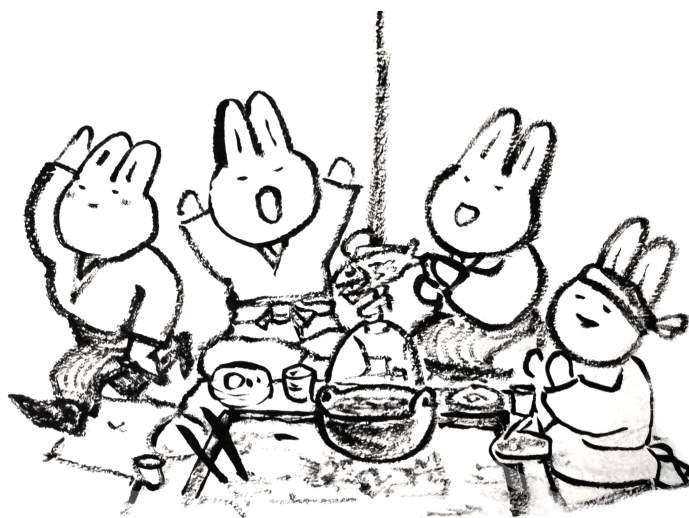


MINYO_CAFE_AINOTE

<MEMO>



民謡を知って みんなよう！



対象者：暮らしと民謡のつながりを
知ってみたいおとな

作成者：佐藤千春

I. イントロダクション

民謡は、舞台で披露される芸能として親しまれていますが、本来は人々の暮らしのなかで自然に生まれ、育まれてきた歌です。地域の風習や行事とともに伝えられてきたからこそ、舞台からではなく歴史の側からのぞいてみると、きっと新しい景色が見えてきますよ。

II. 民謡を知る最初の一冊

■竹内勉, 2019, 『日本民謡事典 I～III』朝倉書店.

全国の民謡 482 曲の解説を収めた 3 巻本。由来や歌詞はもちろん、どんな場面で誰が歌ってきたのかまで詳しく記載されています。民謡事典はいくつもありますが、まず手に取るならこの一冊。より気軽に読みたい方には、同じ著者によるポケット版『民謡手帖』が便利です。

■日本民謡協会, 2019, 『民謡指導マニュアル』日本民謡協会.

もとは学校の先生向けに作られた指導書ですが、民謡の歴史や音階の特徴、歌い方のコツまで要点が整理されていてわかりやすい本です。教育現場に限らず、これから民謡にふれてみたい人にもオススメです。

III. 民謡の歴史と今を知る

■三隅治雄, 1990, 『日本の民謡と舞踊』大阪書籍. [絶版]

民謡と舞踊がどう生まれ、そして今どのような状況にあるのかを解説しています。民謡が歌われた場面を身近な例とともに紹介し、読みやすい文章でグイグイ引き込まれます。著者の民謡愛あふれる内容に、思わず涙した本でもあります。

■島添貴美子, 2021, 『民謡とは何か?』音楽之友社.

「民謡とは何か」という問いに、現代の視点から挑んだ最新の研究書。著者自身の調査やフィールドワークをもとに、民謡の歴史や研究の流れを整理しながら、その本質に迫ります。曲ごとの紹介ではなく、民謡のイメージがどう作られ、時代のなかで変わってきたのかを考える一冊です。

IV. 暮らしと人から見る民謡

■岩井宏實ほか, 2022, 『民具の事典【普及版】』河出書房新社.

田植えや漁、祝い事などで使われた生活道具をイラスト入りで紹介し、地域ごとの違いや使い方をわかりやすくま

とめています。民謡の本ではありませんが、歌が生まれた作業や風景を考えるうえで役立つ一冊です。

■菊池淡狂, 2009, 『民謡人 忘れ得ぬ人びと』日本民謡協会.

民謡に生涯をかけた名人や採集者の姿を、著者自身の思い出とともに紹介しています。いまでは直接知る人の少ない、先人たちの生き様と情熱を伝える貴重な一冊です。